

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスはなぞの		
○保護者評価実施期間	R8年 12月 25日		～ R8年 3月 23日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16人	(回答者数) 15人
○従業者評価実施期間	R8年 2月 26日		～ R8年 3月 23日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11人	(回答者数) 11人
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 3月 24日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員が丁寧に関わってくれることで、安心して通わせることができている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どものその日の体調や気分に応じて活動内容を調整し、無理なく安心して過ごせる環境が整っている。</li> <li>柔軟な対応が行われている点が安心につながっている。</li> <li>職員間で支援方針や対応方法を共有し、関わり方の統一を図ることで、誰が対応しても安定した支援が提供できる体制を整えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員の関わり方の質を維持・向上するため、対応事例の共有やロールプレイ研修を定期的実施し、丁寧な関わり方の具体的な方法を全職員で共通理解できる体制を強化する。</li> <li>保護者からの意見や満足度を定期的に確認し、関わり方に関する評価や要望を支援に反映することで、より安心して利用できる環境づくりを継続的に改善していく。</li> </ul>
2	日々の活動内容や子どもの様子について、保護者との情報共有が丁寧で家庭でも状況を把握しやすい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>日々の連絡帳や送迎時の口頭説明を通して、活動内容や子どもの様子を具体的に伝えている。</li> <li>できたことや成長の様子を丁寧に共有し、保護者が家庭でも状況を把握しやすいよう継続的な情報提供に努めている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者同士が交流できる機会や情報交換の場が増えると、悩みの共有や安心感につながるため、参加しやすい形でのイベントの充実につながる。</li> </ul>
3	多様な活動プログラムが用意されており、子どもが楽しみながら参加できている。創作や運動、外出などバランスの取れたプログラム内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>外出時や活動時のルール説明や見守り体制が整っている。保護者として安心して預けられる環境が整備されていると感じる。</li> <li>創作・運動・外出等をバランスよく組み合わせ、子どもの興味や発達段階に応じた多様な活動を計画している。また、楽しみながら参加できるよう活動内容に変化を持たせるとともに、成功体験を積み重ねられるよう関わり方を工夫している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>活動の目的やねらいについて、少し詳しく説明して、家庭でも支援の意図を理解しやすくなり、より連携した関わりが可能になる。</li> <li>新しい活動や地域資源の活用を取り入れ、子どもがより多様な経験をえられる機会の拡充を進めていく。</li> </ul>

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	活動内容の詳細や意図が十分に伝わらない場合がある	活動の目的やねらいを保護者へ十分に説明する時間や機会が限られていることが要因と考えられる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期的な振り返り報告や面談時の説明をグラフやリスト作成し可視化することで充実させていく。</li> <li>活動ごとの目的や支援意図を簡潔にまとめた資料を統一し、保護者へ分かりやすく伝える仕組みを整備する。</li> </ul>
2	外遊びや運動の機会が天候に左右されるため、室内でも十分に体を動かせる環境がもう少しあると良いと感じる。	施設内のスペースや設備に制約があるため、十分な運動活動を行うための環境が整いにくく、特に雨天時や気候条件によって外遊びが制限されることが要因となっている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>室内でも安全に体を動かせるよう、ミニ運動器具や簡易的な運動プログラムの導入を追加する。</li> <li>限られたスペースでも実施可能な運動プログラムのバリエーションの工夫を行う。</li> <li>活動の時間帯調整や外出先の選定を工夫し、安定した運動機会の確保に努める。</li> </ul>
3	保護者が参加できる行事や関わる機会が限られており、事業所での様子を直接見る機会が少ない点が課題と感じられる。	保護者の就労状況や時間的負担への配慮を優先する中で、参加型行事の実施頻度を控えていることが要因となっている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>短時間・自由参加型の行事やオンライン形式の保護者会を導入し、参加しやすい環境づくりを進める。</li> <li>活動見学日やミニ参観などの機会を設け、事業所での様子を直接確認できる機会の充実を図る。</li> </ul>